

平成19年10月17日

GTG Gluskin Townley Group が財団法人自転車産業振興協会向けに作成

米国自転車市場レポート2007年10月号

米国自転車市場情報

輸入

2007 年も、米国での販売シーズンである第3四半期に入った。輸入は引き続き増加しており、台数で2%弱、FOB 価格では9%強増加している。表1に年初7カ月間の状況を示す。

表1 年初7カ月間の米国自転車輸入 2007年及び2006年の比較

1~7月	2007		2006		変化	
HS 関税番号	台数	FOB US\$	台数	FOB US\$	台数	FOB US\$
1510 19-inch 以下	2,874,727	69,041,142	3,010,416	66,409,601	-135,689	2,631,541
1520 20-inch	2,967,120	94,988,257	2,729,084	94,185,940	238,036	802,317
1550 24-inch	812,594	45,844,747	1,008,714	49,377,261	-196,120	-3,532,514
2500 27-inch&700c	601,890	141,178,756	408,701	112,715,753	193,189	28,463,003
3500 26-inch	3,197,669	256,335,523	3,125,371	232,583,010	72,298	23,752,513
その他	119,170	9,615,214	111,734	8,922,595	7,436	692,619
計	10,573,170	617,003,639	10,394,020	564,194,160	179,150	52,809,479
対前年比%					1.7%	9.4%
平均単価 US\$		\$58.36		\$54.28		
対前年比 %					\$4.08	7.5%

前月に比べ、輸入の伸び率はいくらか落ち着いてきた。今四半期の残された月々の状況により、輸入の昨年比5%増加という状況が維持されるかどうか、判明することになる。

平均単価は一年前に比べUS \$4~US \$5 上昇している状況が続いており、年初7カ月における平均単価はUS \$58.36 であり、昨年と同じ時期のUS \$54.28 から7.5%上昇している。

毎月行っているとおり、以下に年初7カ月間の製品区分ごとの米国の自転車輸入の要点を記す。

- ・ 19 インチ以下の自転車は、全体の台数で引き続き減少を示しており、年初から4.5%減少した。しかし、平均単価が2%近く上昇したことにより、FOB価格は約4%増加し、US \$260万となっている。
- ・ 20 インチの自転車は、台数でほぼ9%の増加を示しているが、平均単価は昨年に比べUS \$2.50、すなわち台当たり7%下落している。結果として、台当たりFOB価格を次第に引き上げる作用を持つ、中国政府による輸出補助金の一部取り消しにもかかわらず、総FOB価格は対前年同期比で僅かに上昇、という状況になっている。
- ・ 24 インチの自転車は、本年面白い状況を示している。この製品区分は、今年初めに始まった輸入の減少が、年初7カ月の段階においても継続している。台数では19%、196,000台の減少、総FOB価格では7%、US \$350万減少している。これらにより年初7カ月の時点で、平均単価は一年前のUS \$48.95 からUS \$56.42 へと15%も上昇している。
- ・ 27 インチ及び700ccロードバイクの自転車も、年間を通じ興味の持てる輸入分野である。これについては以前にも論評した。米国内のどの流通経路で今年年初七ヶ月間に昨年の同時期に比べ193,000台もの余計の自転車を飲み込んだ、願わくば、販売したのであろうか。非常に注目されるべき、47%の台数増加を示している。年初七ヶ月間において総FOB価格は25%、約US \$2,850万増加したものの、平均単価は昨年の\$275.79 から本年の\$234.56 へと下落している。
- ・ 26 インチの自転車は、最も大きな単一の輸入区分であり、全体で増加している。台数で2%、総FOB価格は10%、平均単価はほぼ8%上昇した。この分野はビーチクルーザーから前後サスペンション付マウンテンバイクまで全ての26インチのものを含むことに注意してほしい。この分野の増加は、特定のものに集中しているかもしれないし、広い拡がりがあるのかもしれない。高価値製品であることが良い点だ。

従来どおり、米国自転車輸入の推移分析に関し俯瞰してみたい。表2は2007年の年初7カ月の輸入について、2004年から2007年までの過去4年間の比較を示したものである。

表2 年初7ヶ月間の米国自転車輸入の四年間の推移

年	台数	FOB 価格	平均単価
2007	10,573,170	617,003,639	\$58.36
2006	10,394,020	564,194,160	\$54.28
2005	12,171,104	632,563,383	\$51.97
2004	9,988,974	472,100,939	\$47.26

この表は、米国自転車業界に在籍するものにとって、今現在の年を見て、2007年がそうであるように、直前の年より改善しており、自転車販売にとって大変良い年になるだろうと自然に予測ができる、そしてそのことにより感情の高ぶりをもたらしてくれる、重要な現実確認の意味を持つものである。現実はそれほど悪くはない。この表からわかるとおり、年初7カ月間において、2007年は過去四年間で2番目に良い年で、2004年と2006年を上回っている。しかし2005年よりかは出遅れている。

輸入レポートの次の部分についてであるが、状況は毎月殆ど同じである。表3は、年初7カ月間における米国への自転車輸入の上位二カ国を示したものである。

表3 米国自転車輸入における上位2カ国 年初7ヶ月間の総輸入における割合

国名	総台数	比率%	総 FOB 価格 US\$	比率%	平均単価 US\$
中国	10,122,757	95.74%	474,711,345	76.94%	\$46.90
台湾	406,098	3.84%	128,434,340	20.82%	\$316.26
総輸入	10,573,170	100.00%	617,003,639	100.00%	\$58.36

中国が引き続き台数で占有しており、台湾がハイエンドを占有している。

米国の輸出

米国業界にとって完成自転車の輸出は比較的小さい部分を占めているに過ぎず、隙間としてとらえることができる。しかし近年この隙間が、多くのハイエンド製品及びビルダーにとって、非常に収益性の良いビジネスの一部として、ゆっくりとではあるが成長している。表4は年初7ヶ月間の自転車輸出を示す。米国の国内で生産された自転車は、平均単価はUS\$400を少し下回り、米国の製造業者、少なくとも“Made in USA”というラベルにより資格を与えられたブランドにより、129,000台の出荷、総価格US\$5,010万が生み出されている。

表4 2007年、年初7カ月間の米国の自転車輸出

1～7月	国内			海外			計		
	HS	台数	FOB US\$	平均単価	台数	FOB US\$	平均単価	台数	FOB US\$
1070	15,128	3,362,083	\$222.24	5,615	1,097,319	\$195.43	20,743	4,459,402	\$214.98
2600	31,077	24,988,239	\$804.08	32,258	10,155,982	\$314.84	63,335	35,144,221	\$554.89
6000	82,819	22,526,247	\$271.99	2,731	1,657,214	\$606.82	85,550	24,183,461	\$282.68
計	129,024	50,876,569	\$394.32	40,604	12,910,515	\$317.96	169,628	63,787,084	\$376.04

1070：25インチ以下、2600：25インチ以上、6000：車輪径が示されていないもの

年初7カ月間においては、国内生産が76%を占めており、残りは米国にまず輸入され、その後輸出されたもので、これが40,604台ある。平均単価はUS\$318で、追加的に総FOB価格US\$1,290万を生み出しており、これは即ち米国の流通業者やブランドの収入となっている。

年初7カ月間の米国の自転車輸出は、全部で169,628台、FOB価格US\$6,380万を生み出し、平均単価はUS\$376.04である！

表5は年初7カ月間の米国自転車輸出の2004年から2007年までの過去4年間の推移を示したものである。

表5 過去4年間の年初7カ月間の米国自転車輸出の推移

年	1～7月 総台数	総FOB U.S.\$	平均単価 U.S. \$
2007	169,628	63,787,084	\$376.04
2006	178,104	62,111,979	\$348.74
2005	208,807	62,546,696	\$299.54
2004	172,538	45,666,323	\$264.67

2007年は出荷台数では目立っていないが、総FOB価格及び平均単価は過去四年間で一番になっている。

米国の自転車輸出にとってどの国々が最も良い顧客先であろうか。上位四カ国は、表6に示すとおり過去7カ月間あまり変化がないが、カナダが米国のハイエンド自転車輸出の最大の顧客となっていることには注目を要す。これは、アジアで生産された自転車に対し課されている相殺関税により、それらの国々が一部で影響を受けていることによるものと思われる。

関心もたれるのは、台湾が米国の自転車輸出の29%を、台当り平均以下の\$171で購入していることである。

オランダと日本は台数では多くを購入していないが、表6に示すとおり米国からは大変高価格のものを輸入している。

表6 2007年年初7カ月 米国自転車輸出先上位4カ国

国名	台数	台数比	総 FOB U.S. \$	平均単価 U.S. \$
カナダ	53,530	31.56%	20,494,019	\$382.85
台湾	49,520	29.19%	8,480,099	\$171.25
オランダ	8,672	5.11%	5,800,642	\$668.89
日本	6,484	3.82%	4,388,502	\$676.82
計	169,628	100.00%	63,787,084	\$376.04

流通経路

自転車店の流通経路

今月も引き続き米国の自転車専門店、即ち自転車店の流通経路について報告する。車輪径20インチ及びそれ以上の自転車について報告していることに注意してほしい。というのは、歴史的な比較ができること、そして、19インチ以下の自転車は主に量販店で販売されており、従って市場シェアや関連比較数値がゆがめられるからである。

表7は2000年から2006年にかけての、自転車店の20インチ及びそれ以上の自転車の推定販売につき、台数と小売金額を示したものである。この期間はロード700ccの7年間にわたるブームの期間であった。ロードバイクの販売急増によっても、自転車店の流通経路全体の量が増えなかったこと、全体の成長に火がつかなかったことは明らかである。

表7 専門自転車店の流通経路

20インチ及びそれ以上の自転車の推定新車販売、台数及び売上 2000年～2006年

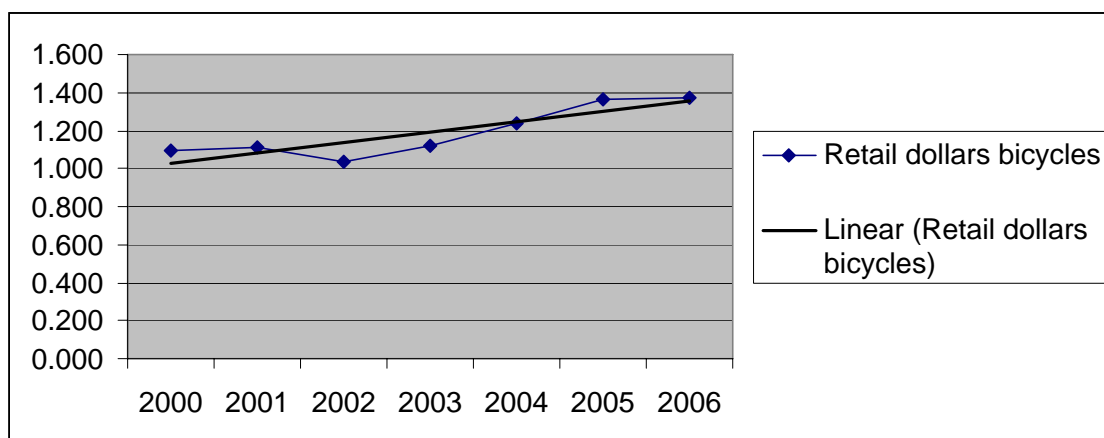
	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
販売台数 (百万台)	2.7	2.7	2.5	2.5	2.5	2.8	2.7
US\$売上金額 (10億ドル)	\$1.1	\$1.1	\$1.0	\$1.1	\$1.2	\$1.4	\$1.4

出典：The Bike Shop List; NBDA The Total Market Report 2006 ; BPSA Annual Report
The Gluskin Townley Group による推定

図Aは2000年から2006年までの自転車店の流通経路における推定小売売上額（US\$）である。傾向線により上向きの傾向が示されていることに元気付けられる。しかし、これはロード700ccの販売急増に基づいたもので、これは飽和に達し、2005年から2006年に示されているとおり、伸びが止まってしまった。

図A 專業自転車店の流通経路

20インチ及びそれ以上の自転車の推定新車販売、台数及び売上 2000年～2006年



出典：The Bike Shop List; NBDA The Total Market Report 2006；BPSA Annual Report The Gluskin Townley Group による推定

この流通経路における売上の増加は、単一の製品区分の販売増により火がつき、それに伴ない平均単価も上昇したため、この一つの分野、即ちロード700cが失速し成長が止まると、同様の価値を持つ別の製品分野が伸びてこないか、或いはいくつかの分野が同時に台数増加してこないか、この流通経路全体の金額減少へとつながっていく可能性がある。

実情を見ると、厳しい競争状態下、完全競争状態のもとでは、これらのどちらも近い将来に起きるとは、この流通経路のこれまでの歴史から見ても、考えらそうにない。

自転車の販売台数が変わらず自転車店の数が減っているため、結果として残った自転車店では販売台数が増えている。言い換えれば、増減の見られない市場の中で、全体として同じ数の自転車が、出店数或いは店頭数が減少している自転車店を通して販売され、結果として残った自転車店では、より多くの台数をより高い平均単価で売り、これらの残った店では自転車の新車販売による収入が増えている、とすることができる。

表8 專業自転車店の流通経路

20インチ及びそれ以上の自転車の推定新車販売、台数及び売上 2000年～2006年

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
專業店の数	6,195	6,259	5,505	5,358	4,982	4,704	4,600
販売台数 (百万台)	2.7	2.7	2.5	2.5	2.5	2.8	2.7
売上金額 (10億ドル)	\$1.1	\$1.1	\$1.0	\$1.1	\$1.2	\$1.4	\$1.4
1店当り台数	433	425	461	461	510	591	583

1 店当り売上 高(千ドル)	\$177,000	\$178,000	\$188,000	\$209,000	\$248,000	\$290,000	\$298,000
-------------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

出典：The Bike Shop List; NBDA The Total Market Report 2006；BPSA Annual Report
The Gluskin Townley Group による推定

表8はこのシナリオを見やすく示したものであり、自転車店の流通経路における20インチ及びそれ以上の自転車の小売販売の推移の実態がわかりやすくなるはずである。

- ・2001年から2005年を比較すると自転車店の数は25%、即ち1,555店減少した。
- ・2001年から2005年にかけての20インチ及びそれ以上の自転車の、この流通経路における販売台数には、ほぼ変化がない。
- ・20インチ及びそれ以上の自転車の販売における流通経路全体の売上高は、小売価格\$1,000以上のロード700cの販売急増により、3億ドル、即ち27%増加した。
- ・20インチ及びそれ以上の自転車の一店当りの販売台数は、2001年の425台から2005年の591台へ増加した。一店当り、新車166台、即ち39%の増加である。
- ・20インチ及びそれ以上の自転車販売における一店当り平均総売上高は、2001年から2005年にかけて\$112,000、即ち63%増加した！
- ・20インチ及びそれ以上の自転車販売における一店当り平均総売上高の、2003年から2005年にかけての増加額は\$81,000であった。

○2003年から2005年にかけて総小売売上高の中間値が\$99,000増加したと直接比較はできないが、自転車新車売上が総小売売上高へ大きく貢献したこと、及びこの時期小売金額\$1,000を超えるロード700cの売上が急増したことの二つに、符合していることは確かである。

次号では、高級ニッチ自転車製品、ハンドメイド或いは注文生産によるフレーム・自転車の自転車店経由或いは消費者への直接販売の増加について報告を行う。米国自転車市場の中でこの分野はこれまで、全体的に低く見られ、事実上主要ブランドからは無視されている。しかし、伸びの見られない米国自転車市場の中で、収益性が高く成長の見込まれるビジネスの機会として表れてきている。

新製品

自振協職員がインターバイクを参観したので、新たな発見や観察店について報告することと思う。ここでの我々の目的は、その報告を我々独自の見方で補強することである。

二日間にわたるアウトドアデモに続き、2007年9月26日から28日まで業界関係者のみに限られた展示会が開催され、22,515人がバッジを取得、即ち参観した。このうち、11,054人が自転車専門店、即ち自転車店の流通経路からのバイヤーとして登録された。

展示会では、米国、カナダ、メキシコ及びラテンアメリカからの専門自転車店を含む、3,787の小売業が登録された。

我々の小間をたずねた、或いは、展示会場の通路を歩きながら出会った多くの小売店との会話を通して、我々は今年のインターバイクで注目される新製品につき、二つの結論を得るに至った。

1. シティバイク、即ち舗装路上の自転車が、展示会で幅広く出展されているものの中で唯一の注目される製品区分だった。インターバイクの最初の二日間を参観したボストングローブ紙のレポーターは、最終日に展示会の見方について共通認識を得るために、電話をかけてきた。その中で、展示されていた中ではシティバイクが注目される分野で、この分野の成長は加速するだろうという意見を得た。我々は、より多くのシティバイクが以前にも増して自転車店で提供されることを確認した。しかし、それには a) 自転車店がシティバイクを歓迎し、本当にこの分野を育てていくかどうか、 b) 実際の小売がどうなるのか、を見極めるのに 2008 年シーズンの殆どがかかるということも指摘しておきたい。
2. シティバイクの他には、インターバイクでは新しい、真の革新的な目立つ製品は全くなかった。今年のインターバイクでも通常の、登場したばかりの商品や新製品が見られたのは事実である。しかし小売店の人たち、少なくとも我々が特別に話をした人たちは、新たな動きを生み出す、或いは真の革新をもたらすことを約束するような新製品は、見ることも聞くこともできなかった、と話していた。これは特に珍しいことではない。我々の意見では、引き続き、上級市場向けGPSを含んだ各種電気関係付属品、及びカーボンファイバー製部品が注目されるであろう、ということである。この春の台北ショーでは複合タイプが目立っていたが、米国市場でシティバイクの注目度が高まるにつれ、更に拡がりをみせていくことであろう。

以 上



この報告書は、競輪の補助金を受けて作成したものです。